

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公開番号】特開 2005-149705 (P2005-149705A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022
 【出願番号】特願 2004-308837 (P2004-308837)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/13 (2006.01)

G 1 1 B 7/0065 (2006.01)

G 1 1 B 7/135 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/13

G 1 1 B 7/0065

G 1 1 B 7/135 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 22 日 (2007.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

請求項 9 に記載のホログラフィック光情報記録装置において、

前記空間光変調器は、前記位置検出用信号を含む光信号ビームと、前記位置検出用信号を含まない前記再生信号を含む光信号ビームを生成する、

ことを特徴とするホログラフィック光情報記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図 8 の実線で示された円は、図 7 に示す光ディスクシステムにおけるフーリエ変換レンズ 3、ホログラムディスク 5、及び 2 次元受光素子アレイ 6 の位置関係が適正であるときの、各受光セル上での再生信号光スポット 25 を表しており、各光スポット 25 は対応する受光セル 9 の中央に位置している。また、図 8 の点線で示された円は、再生時に光源波長が最適な値より短くなったときの、各受光セル上での再生信号光スポット 25 a を表しており、各光スポット 25 の、対応する受光セル 9 内での位置は、2 次元受光素子アレイの中央から離れた受光セルほど、その光スポット 25 a が受光セルの中心から、受光素子アレイの中心側にずれた位置となっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

また、本願の請求項 10 に係る発明は、請求項 9 に記載のホログラフィック光情報記録

装置において、前記空間光変調器は、前記位置検出用信号を含む光信号ビームと、前記位置検出用信号を含まない前記再生信号を含む光信号ビームを生成する、ものである。

これにより、より多くの再生対象情報を記録媒体上に記録することが可能になる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

また、上記位置検出用受光部 33 は、再生信号光スポット列における位置検出用光スポット 32 を複数の受光セルで受光し、2 次元受光素子アレイに対する再生信号光スポット列の照射位置を検出するための位置検出用信号を生成するものである。ここで、上記位置検出用光スポット 32 は、記録媒体への情報記録時に空間光変調器によって変調されて記録媒体上に記録された位置検出用情報を含む信号光である。例えば、位置検出用光スポット 32 には、再生信号光スポット列における光スポットの周波数帯域よりも低い周波数帯域を有するサーボ信号の周波数帯域の信号光を用いる。